

# 平成29年度予算 未来を見据えた「堅実かつ積極的な予算」を組みました!

● 一般会計 228億4000万円 〈対前年比8億1000万円(3.4%)の減〉

● 全会計 382億991万円 〈対前年比3億2993万円(0.9%)の減〉

## ● 縄文プロジェクトの推進 (八ヶ岳 JOMON ライフフェスティバルの開催)

茅野市の縄文文化の発信と縄文プロジェクトの具現化を目的に、『「生きる」はもっと素直でいい』をテーマに、「第0回 八ヶ岳 JOMON ライフフェスティバル」を9月9日～10月22日の44日間開催予定です。既存と新規を組み合わせたイベントを市内各所で同時開催します。



- 観光を活かしたまちづくりの推進 (茅野版DMOの設立準備)
- インターンシップ促進事業補助金の創設

市内の事業所等へインターンシップ(就業体験)を行うことにより、学生等(大学生、高校生、障害者)の職業選択能力や就業意識の向上を図るとともに、地元雇用を促進します。学生等を受け入れた市内の事業者等に、学生等の指導のために要した経費を補助します。

- 建築物耐震診断・耐震改修の助成拡大
- 防災アセスメントの更新
- 地域コミュニティ活動助成金の拡充
- みんなのまちづくり支援事業の拡充

各地区のコミュニティ運営協議会や区・自治会の活動を支援するため、今年度から、地域の活性化につながる活動や事業、地域の発展や課題解決のための創意工夫ある活動や事業に対して、年間100万円を上限に支援の拡充をします。

## 予算を「家計」に例えると・・・

平成29年度一般会計の予算を家計に置き換えてみました。市の予算と家計では、お金の使い道などが違うので、単純に比べられませんが、1か月の収支を30万円とすると、次のようになります。

平成29年度

(参考) 平成28年度

平成29年度		(参考) 平成28年度	
収入	支出	収入	支出
給与 225,800円	食費・医療費・光熱水費 148,149円 (人件費・扶助費・物件費)	給与 221,659円	食費・医療費・光熱水費 139,818円 (人件費・扶助費・物件費)
うち基本給 108,402円 (市税)	ローン返済 37,426円 (公債費)	うち基本給 105,476円 (市税)	ローン返済 36,209円 (公債費)
諸手当 117,398円 (地方交付税・国・県支出金など)	家の増改築など 31,622円 (投資的経費)	諸手当 116,183円 (地方交付税・国・県支出金など)	家の増改築など 37,414円 (投資的経費)
パート収入 43,581円 (使用料・手数料等)	家・車の修繕費 3,670円 (維持補修費)	パート収入 42,754円 (使用料・手数料等)	家・車の修繕費 3,456円 (維持補修費)
銀行からの借入 25,549円 (市債)	保険料・各種会費など 40,440円 (補助費)	銀行からの借入 30,691円 (市債)	保険料・各種会費など 41,552円 (補助費)
貯金の取り崩し 5,070円 (基金繰入金)	子どもへの仕送り 23,482円 (繰出金)	貯金の取り崩し 4,896円 (基金繰入金)	子どもへの仕送り 24,222円 (繰出金)
	貯金(積立金) 905円		貯金(積立金) 975円
	その他の生活費 14,306円		その他の生活費 16,354円
計 300,000円	計 300,000円	計 300,000円	計 300,000円

※平成29年度予算の詳細や具体的な事業内容などは「わかりやすい予算説明書」または市ホームページをご覧ください。  
問い合わせ 企画財政課 財政係 ☎72-2101 (内線154)

## 平成29年度予算の考え方

平成29年度は、茅野市にとって、まちづくりの転換点(ターニングポイント)に当たる重要な年となります。第4次茅野市総合計画(市民プラン)の総仕上げを行い、第5次茅野市総合計画の策定を進めていくために、「過去に学び、未来を見据え、新しい道を切り開いていくこと」が大切であり、市政経営方針においては、3つのC「継続(continue)」「転換(change)」「創造(create)」をまちづくりのスローガンとして掲げました。

平成29年度の予算は2つの大きな視点をもって行いました。一つ目は、将来のまちづくりへの投資を図るため、安定した財政基盤を保持することです。具体的には、平成26年度から3年間の財政構造改革で達成した、①基金に頼らない収支均衡予算の編成、②基金残高(財政調整基金と減債基金)30億円以上の維持、この2つの規律を守ることです。二つ目は、第5次茅野市総合計画へつなげ、また、地域創生を加速させるために、未来を見据えた重点事業を盛り込んだ予算とすることです。

市民の皆さんが希望と誇りをもって、持続的に「安全」なまちで「安心」して「確実」に暮らせる、堅実かつ積極的な予算ができました。以下、平成29年度の主要事業をご紹介します。

## 〈平成29年度の主要事業〉

### ◆ハード面◆

- 新リサイクルセンター、最終処分場の建設に向けた計画や各種調査事業
- 北山保育園、小泉保育園の大規模改修工事に向けた設計

耐震改修工事等が必要な園のうち、今年度は、平成30年度の大規模改修工事(リノベーション)に向けて北山保育園、小泉保育園の設計業務を行います。

- 公共施設等総合管理計画に基づく施設の修繕事業

施設の長寿命化を図るため、優先順位をつけて実施していきます。平成29年度は、小中学校9校、保育園2園、コミュニティセンター2ヶ所など、計14施設の改修工事を実施します。

- 広田ほ場整備などの土地改良事業
- コワーキングスペースの整備

市内外のさまざまな場所から「人、モノ、情報」が集まり、それが相互に繋がり、新しい価値を産み出すことができる拠点として、ベルビア2階の一部を新たに整備します。

### ◆ソフト面◆

- 産後ケア事業の開始

産後間もない母親の体調不良や育児不安に対し、医師、助産師、保健師等による専門的な相談、指導体制を整え、安心して産み育てることができる環境を整備します。

- 多子世帯における保育料、学童クラブ利用料の軽減拡充
- 小中一貫教育のスタート
- 諏訪東京理科大学の公立化に向けた準備

公立化により、さらに地域に貢献する大学となるよう、長野県や地元産業界等からの協力をもとに、平成30年4月の開学を目指します。